

市民助け合いネット

仲間通信

〔第41号〕

発行

NPO法人
市民助け合いネット

代表 片岡 興一
〒270-0123 流山市若葉台3-131
☎ 04-7153-5733

令和2年12月末現在

私たちの仲間

総数 1,126名

提供会員 432名

利用会員 694名

謹賀新年



新型コロナ禍のピンチをチャンスに

「逆境の克服」で明るく元気な社会を作ろう!!



明けましておめでとうございませう。本年も皆さまにとつて幸多い年になりますよう心からお祈り申し上げます。と言う新年の挨拶が虚しく感じる年明けになりました。例年以上に「神頼み」の年明けになりそうです。

四月の緊急事態宣言の時のように日本全体が心を一つにして新型コロナ感染症に立ち向かう初心の気持ちに立ち返って行動する必要があります。新型コロナ感染症は、我々の社会生活に大きな傷跡を付けています。その最たるものに日常のコミュニケーションの断絶があります。直接会って語らうこと、交流することの大切さをコロナ禍を通して痛感しています。

コロナ禍に負けず高齢者の生活支援

元気シニア作りに頑張っています

私たちの助け合い活動は、高齢の方で日常生活でご不便を感じたり、困ったりしていることのお手伝いをする「お互い様」の精神で成り立っています。生活支援活動を通してお互いの信頼関係を醸成する良好なコミュニケーションにより、当会のミッションである「二人喜ぶ活動」が成立するのです。

この一年、コロナ禍で私たちがどうしようもできない歯がゆさを感じてきました。反面、人と人との交流の大切さを改めて認識し、コロナ禍の終息の暁には今まで以上にコミュニケーションを豊かにして活動に取り組んでいきたいと考えています。

私たちが取り組んでいる助け合い活動と居場所・サロン活動は、コロナ禍による大きな制約とリスクを受けながら頑張ってきました。コロナ禍の厳しい状況の中で生活支援サービス、元気シニアづくりに尽力いただいている提供会員の皆さんには、

ただただ感謝の言葉しかありません。

昨年を振り返ってみますと四月から十一月末現在で生活支援の活動件数は例年の半分で、実績から見ても利用会員の皆さまには、コロナ対策で屋内の活動や病院内の付き添いを制限していることで数字以上に日常生活でご不便を感じています。まさにやる瀬無さを感じておられます。新型コロナウイルス感染症が収束に向かい、ワクチン接種や適切な治療が受けられる見通しが来るまでは不自由な生活を強いられるかもしれませんが、今しばらく我慢をお願いします。

「ふれあいの家・えがお」は昨年五月に活動を休止して以来、十月から半年ぶりに再開しましたが、その間、再開を心待ちしてくれていた方の多さに嬉しさとやっとなりました。再開後、プログラムを減らして頑張っていました。年末十二月の全国的な感染拡大傾向により急遽、年内はイベントを中止することにしました。

年明けは、新型コロナウイルスの感染状況を極めながら早い再開を目指してまいります。

さて、今年の活動はコロナ次第ということになります。昨年、面談型の接し方ができない中で電話だけのやり取りは意思疎通を欠き、これまで考えられなかったトラブルも発生し、利用会員さんに迷惑をおかけしました。当分、コ

ロナ禍の活動を強いられることを考えれば、高齢者同士といえどもコミュニケーションの手段としてデジタル活用が必要です。フェイス・ツー・フェイスを実現するためにスマホを利用したテレビ電話などの普及に会として取り組む必要があります。

活動を正しく理解してもらうため、ユーチューブによる活動の紹介動画の配信も考えなければなりません。オンラインによる会議、セミナーなどコロナ禍を逆手にとつて「逆境の克服」で一段と成長するチャンスの時かもしれません。

同じことがボランティア活動にも言えます。活動の停滞でボランティア活動をはじめとする市民活動が衰退することは避けなければなりません。しかしながら高齢者だけのボランティア活動においては一年以上の停滞は取り返しがつかなくなり、次の世代にボランティア活動をつないでいかなければなりません。これまでのように「温かい心の人はずいぶんいます。大丈夫」だけではつながらなくなりました。

これまでも考えていたことで、世代毎の問題をオール世代で解決する。そして支え合う社会の実現を何としても作らなければなりません。

今年、そんな正念場の年として頑張っていきます。

コロナ禍に負けず明るく元気な社会を作って行きましょう。



昨年のトピックス

移動困難者の課題 解決に向け送迎活 動の事例を紹介！ 「於・松ヶ丘自治会」

コロナ禍でも高齢化の波は大きなうねりとして地域にも影を落としています。特に病院、施設への移動は、深刻な問題となっています。ある地域では心ある有志が集ってお買い物ツアーを始めています。温かいニュースも聞こえていますが是非、地域に定着することを願うとともにエールを送りたいと思います。

九月二十三日に流山市でも高齢化率が高い松ヶ丘自治会と当会の送迎サービスの紹介と意見交換の場を持ちました。移動困難者を助けたい温かい心をお持ちの方が大勢集まり、地域課題の解決に向けた意見交換会になりました。

松ヶ丘自治会として地域に合った送迎活動に取り組んでいきます。早速、松ヶ丘地区から送迎活動開始に向けて当会の会員として福祉有償運転者講習を受講していただきました。これから志を一つとする仲間がますます増えることを期待し、当会も全面的に支援してまいります。



移動困難者を助ける検討会



「京葉銀行・ホームヘルパー助成基金」で 樹木の剪定、草刈り 機材を取得しました

当会は、設立当初から京葉銀行の「公益信託京葉銀行ホームヘルパー助成基金」に応募して助け合い活動に必要な助成いただいています。

今回は、会員宅の樹木の剪定・草刈りなどに必要な機材の取得を目的に応募し、基金を提供いただきました。これまで剪定・草刈り作業は、会員の皆さんの手持ちの機材を持ち込んでもらって活動をお願いしていましたが、今回の取得によりコロナ禍でも安心・安全に効率の良い作業が可能になりました。

京葉銀行様には大変感謝申し上げます。(写真はコロナ禍の剪定・草刈り作業風景です)



上:草刈りバサミによる作業
左:電動バリカンによる剪定



「えがお談話室」をご存じですか？

「えがお談話室」は、認知症の方やそのご家族、また、ご高齢の方や障がいをお持ちの方の介護をしているご家族、地域の方や専門家などが、自由に参加・交流できる集いの場です。介護の悩みを話し合ったり、ほっとできるひと時を過ごせる場所です。

是非「えがお談話室」をのぞいてみてください。

「えがお談話室」は毎月第4金曜日午後13時30分より15時まで。「えがお談話室」では次のようなプログラムを進めています。

- (1) リラックス体操
- (2) お茶を飲みながらおしゃべり、相談タイム
- (3) レクリエーション 歌を歌ったり、懐かしい映像を見たりして昔を回想したり・・・

コロナ禍で開催できないことがありますので、ふれあいの家

「えがお」にお問い合わせください。

連絡先：☎04-7153-5733

右下の写真は、「えがお談話室」の一コマです。



福祉有償運送サービスのお知らせ

◆住所変更にご注意ください！

高齢化の進展で車による送迎依頼が右肩上がりに増えています。

その中で私たち送迎をする立場として道路交通法を守り、安全運転を励行する必要があります。

ここでは福祉有償運送事業（正式には自家用有償旅客運送事業）について利用会員、送迎サービス提供会員の皆さんに知っておいていただきたい事例を紹介いたします。

【事例】

これまで流山市内にお住まいの方が流山市以外に引越したり、また高齢者施設に入所した場合

- ★この事例では発地・着地のいずれかが流山市である必要があります。
- ★したがって流山市の自宅から市外の病院や施設（その逆も同様）への送迎は問題ありませんが入所した施設や引っ越し先が市外の場合、そこから流山市以外の病院や施設に送迎することは出来ません。

今後、この事例が増えてくることが予想されます。事務所の受付スタッフも十分注意して住所変更に対応してまいります。送迎サービス提供会員の皆さんも是非このことを知っておいてください。

丑年・豆知識(主な出来事)

- 1961 「地球は青かった」ガガーリン、宇宙船第一号 坂本九「上を向いて歩こう」大ヒット
- 1973 オイルショックでモ/不足、買い占め騒動
- 1985 ゲーム「スーパーマリオブラザーズ」大ヒット
- 1997 アメリカ「タイタニック」世界で大ヒット
- 2009 衆院選で民主党が歴史的勝利 「政権交代」「裁判員制度」開始
- 2021 新型コロナ感染症、終息なるか？ 東京オリンピック延期、開催なるか？

事務所からのお知らせ

利用者さんへ

★助け合いの依頼は必ず事務所を通してお願いします。会員同士の依頼は、会として責任を負いかねます。また、早めをお願いします。

提供者さんへ

★利用券の精算は活動後、出来るだけ早くお願いします。
★時節柄、事務所内はマスク、消毒3密にご協力ください。